医療法人社団英ウィメンズクリニック理事長
塩谷 雅英

生殖医療のお話 その11

IVF Clinic Londonの見学

ヨーロッパ生殖医療学会（第29回）が、7月7日から10日までロンドンで開催された。毎年初夏にヨーロッパで開催されるこの学会は、不妊症の治療に取り組む医師、看護師、胚培養士、カウンセラー等にとっては、毎年秋にアメリカで開催される米国生殖医療学会と並んで最も重要な学会である。今年は世界各国からおよそ9000人の参加があった。当院からは、私を含め4人で出席してきたので、この学会の様子を報告したい。

学会参加に先立って、英国で最も成績が良いと評判のクリニックの見学をする機会に恵まれた。正式名称はThe Center for Reproductive and Genetic Healthと言う。

このクリニックはロンドン大学と技術協力しており、実際ロンドン大学の敷地の一角にある。その名称にもある通り、遺伝子診断に力を入れており、受精卵の乳がん遺伝子や神経芽細胞腫遺伝子のスクリーニングを行って成果を挙げている。

［写真1］はIVF Clinic Londonの培養士の方々との写真である。向かって左から、培養士長のAlpesh Doshi、シニア培養士Kalliopi Loutradi、私、広島HARTクリニック向田医師である。培養士長のAlpesh Doshiはケニア人、シニア培養士Kalliopi Loutradiはギリシャ人だそうだ。

国際色豊かなスタッフ全員が笑顔を絶やさず、私たちに非常に親切であった。また、スタッフ間のムードが良く、チームワークの良さを実感した。高い成績を出している秘訣の一つであろうと感じた。

◇　◇　◇

写真1　IVF Clinic Londonの培養士と

IVF Clinic Londonの治療成績が高い理由

さて、今回われわれが訪問したIVF Clinic Londonは英国で最も成績が良いと評判と書いたが、その理由の一つは、彼らがいち早く日本の技術を取り入れたことにある。われわれを歓待してくれたのも、日本の技術を高く評価しているからに他ならない。

特に、彼らが英国の他のクリニックに先がけ取り入れた日本の技術は、卵子や受精卵の凍結保存技術である。この技術はわが国が欧米諸国よりも5～10年進んでいるのである。この凍結技術によって彼らは、英国の他の施設をリードして良好な成績をあげている。

［写真2］にIVF Clinic Londonの培養室の様子を示した。所狭しと顕微鏡や培養器が並んでいた。もちろん、必要最小限の設備はきちんと揃っているが、電子化の進んだ当院の培養室と比較すると、少々時代遅れの感は否めない。

写真2　IVF Clinic Londonの培養室の様子

IVF Clinic Londonの治療成績が高い他の理由として、先述した通りチームワークの良さを挙げることができる。培養士長のAlpesh Doshiは温厚な人柄で、他の培養士をよく統率していた。そして、施設長のDr. Benjamin Abramovも真摯に不妊治療に取り組んでいる姿勢が印象的であった。

［写真3］は、施設の見学が終わってからDr. Abramovと夕食をした時の一枚である。有意義な情報交換をできた。ちなみにDr. Abramovはイスラエル人とのこと。礼儀正しく、そして思慮深い話しぶりが強く印象に残った。

ヨーロッパ生殖医療学会

当院からは、The effect of developmental stage of embryos on human sex ratio at birth by assisted reproductive technology（胚発育段階、胚発育速度が出生時性比に与える影響の検討）という発表を行った。

発表の要旨は、分裂・成長の早い受精卵から生まれた赤ちゃんには男の子が多い、ということである。

その理由は未だ明らかではないが、▽Y染色体精子がX染色体精子よりも受精が速い可能性▽Y染色体がX染色体よりも小さいためDNA合成が早く終了し、分裂・成長が早くなる可能性▽Y染色体上に細胞分裂を促進する因子が存在する可能性――などの要因が考えられている。

写真3　Dr. Benjamin Abramovと会食

受精卵の評価は静止画像から動画の時代に突入

従来、受精卵を評価する場合、顕微鏡で形態を観察してグレード分類する方法が一般的であった。

しかし、この評価方法では実際の妊娠率を必ずしも正確に予測することができず、妊娠率を高めるためには結果的に複数の胚を移植せざるを得ない、などの弊害が指摘されてきた。

近年、培養中の受精卵を5～20分ごとに画像記録し、この画像をコンピューター上で再生することで、5～6日間の受精卵の成長の様子を、数十秒の動画に縮めて観察できるようになった（Timelapse cinematography）。教科書の端に漫画を描いてページをパラパラとめくることで動画として楽しんだ経験をお持ちだろうか。まさに、このパラパラ漫画の原理である。

こうして受精卵の成長を観察すると、従来の静止画像では評価できなかったことが、様々分かるようになってきた。Timelapse cinematographyによる受精卵の観察に関する報告は世界中からなされ、今回の学会の大きな話題を集めていた。

◇　◇　◇

写真4　テニスファンの聖地、ウィンブルドンにて

学会の合間にウィンブルドン観戦

学会期間に重なって、ウィンブルドンテニスチャンピオンシップが開催されていた。英国人のアンディマレーが勝ち上がっていたことから、ロンドンのテレビや新聞はアンディマレーの話題で持ち切りであった。折角なので、一日はテニス観戦に賞やすことにした。

［写真4］は、会場のウィンブルドンテニスコートの風景である。センターコートでは男子セミファイナルが行われていたが、チケットをとることは困難で、多くのファンはコートすぐ横の芝生の丘で巨大スクリーンを見ての応援であった。

「日本化粧品原料集2007」と「日本化粧品成分表示名称事典 第2版」を合わせた 全面改訂版
日本化粧品成分表示名称事典 第3版
2分冊箱入　A4判　総頁数 約1,900頁　定価 37,800円（税込）
薬事日報社
薬事日報 70 YEARS おかげさまで創刊70周年